

GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会)について



開催概要

メインテーマ

幸せを創る明日の風景

Scenery of the Future for Happiness

開催期間 2027年3月19日(金)～2027年9月26日(日) 192日間

開催場所 旧上瀬谷通信施設(神奈川県横浜市)
かつて米軍基地だった広大な土地が、
未来の幸せを創るステージへ生まれ変わります。

博覧会区域 約100ha(内、会場区域80ha)

参加者数 有料来場者数 1,000万人以上



公式マスコットキャラクター
「トウクントウク」
©Expo 2027

全景①



全景②



テーマ館



園芸文化館



日本政府苑



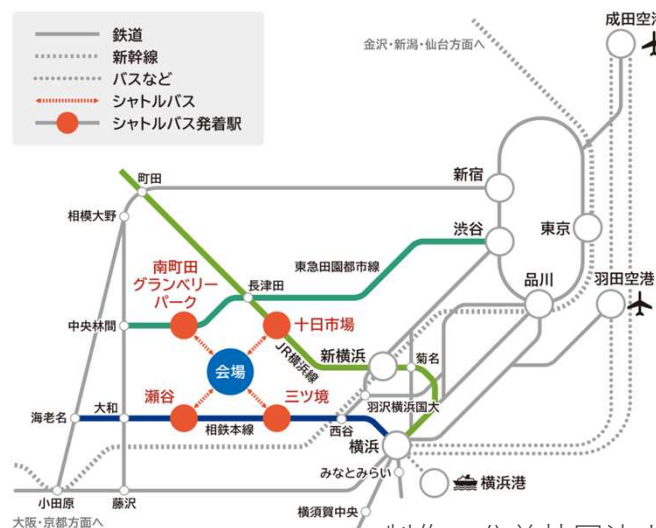
GREEN×EXPO 2027 と教育旅行

国際園芸博覧会は、世界中の国々が参加し、「花」「緑」「自然」との共生をテーマに、**持続可能な社会の実現に向けた提案**を発信する国際博覧会です。GREEN×EXPO 2027は、**1都3県では初となる万博**として開催され、各国の多様な園芸文化や最先端技術、環境への取り組みが一堂に集結します。

会場では、気候変動や生物多様性といった地球規模の課題や、**脱炭素社会、食と農、都市と自然の共生**など、これからの社会に求められるテーマについて、**五感を通じて体感**することができます。これは単なる展示ではなく、**未来の社会やライフスタイルを具体的に描き出し、「幸せを創る明日の風景」を実感**できる場です。

さらに本博覧会は、**修学旅行、校外学習、遠足**などの教育機会においても高い価値を持ちます。児童・生徒が世界の価値観や多様な取り組みに触れることで、**環境や社会課題を自分事として捉え、探究的な学び**を深めるとともに、**将来の進路や生き方を考えるきっかけを創出**します。横浜・上瀬谷の地から発信される都市と自然が調和する**共生モデル**や新たな価値観は、**未来社会の姿を示すとともに、次世代を担う人材の主体的な行動変容を促す契機**となります。

会場アクセス



貸切バス所要時間

- ・羽田空港 約70分
- ・東京駅 約60分
- ・横浜駅 約40分
- ・新横浜駅 約40分
- ・横浜・町田IC 約15分

電車をご利用の場合

- ・横浜～三ツ境 20～30分
- ・横浜～瀬谷 20～30分
- ・横浜～十日市場 20～30分
- ・渋谷～南町田GP 約40分

シャトルバス所要時間

- ・各地～会場 10～15分

GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会)について



5つのVillage(ビレッジ)と3つのゾーン

東京ディズニーリゾートとほぼ同じ、約80ヘクタールの広大なエリア

Urban GX Village

グリーン社会を実現する
最新のテクノロジーと出会う場

Craft Village

自然と共に育まれた日本の伝統的な
ものづくりが一堂に集まる場

Farm & Food Village

「農」と「食」を通じて
ウェルビーイングを追求できる場

Kids Village

これからの地球を生きる子どもたちが
楽しく自然と世界を学べる場

SATOYAMA Village

自然と人の共存する暮らしの
心地よさを再発見できる場

上瀬谷の広大な里山を舞台に、起伏のある地形や川の源流などの自然を生かし、市民や企業が出展する5つの「Village(ビレッジ)」と、花や緑の美しい風景が楽しめる3つの「ゾーン」を設けます。



※2026年5月現在の予定。今後の調整状況により変更になる可能性があります。

国際園芸博覧会の紹介とともに事例として
3つの探究テーマを紹介しています。(協会公式HPに掲載中)

教育旅行
コンセプトブック

GREEN×EXPO
2027の探究



デジタル×探究
教材

GREEN×EXPO
2027の探究

「幸せを創る明日の風景」を
3D空間などを使って体感。
新たな価値観や行動変容を
もたらすきっかけ。
(協会公式HPに掲載中)

